

【第二回】尾鷲の技の遺産

旗を染め続けて、六十六年

大漁旗

三代目万助屋 山本昇吾さん



万助屋 山本昇吾さん(83歳)

上/山本さんのつくる大漁旗は原色が鮮やか。刷毛を駆使したグラデーションも山本さんならではの技法です。右/6月に進水式を控えたマゴロはえ縄船「良栄丸」の大漁旗。中央にはバショウカジキが跳ねています。



上/のり置き作業。簡単そうにすいすいと描いていきますが、熟練を要するとても難しい技です。左下/染め作業で使用する刷毛。右下/のり置きの道具、洗筒。

東紀州でただ一軒の大漁旗屋さん

尾鷲港のほど近く、干物屋さんや畳屋さんが並ぶ昔ながらの路地の一角に、万助屋さんの工房があります。

ガラガラガラと戸を開け、「こんにちは」と声をかける。「はい」と奥の方から返事が。シン部屋染め付け作業場を抜け奥に進み、さらに扉を開けるとそこは裏庭。ほんのりと潮の香りがする風の中、染め上げられたばかりの色鮮やかな大漁旗が、やわら

かな春の日差しを浴びていました。

一隻の船に百本の大漁旗が

「今、尾鷲物産がマゴロ船づくりに取り組んでいます。せやもんで注文が多くなっています。」「ここにやかに話すのは、三代目の山本昇吾さん。なんと、この道六十六年。八十三歳の今も、現役で旗を染め続けています。

「大漁旗ってというのは、新しい船が造られた時、関係者が船主に祝いで贈るんです。昭和三十年代、四十年代の頃は、毎月いくつもの進水式があった。こつこつとついでに描きます。

①【下絵】九十センチ巾の布を横に二枚仮縫いし(畳三畳の大きさ)、その上に鉛筆で下絵を描きます。



のり置き用ののりをこねているところ。水を加えほどよいかたさに調節します。

万助屋 / 尾鷲市朝日町
明治時代創業の三代続大漁旗屋さん。大漁旗のほか、神社ののぼり旗やのれんなども製造しています。

の友禅などにも使われる伝統的な方法で染め上げます。

②【のり置き】仮縫いをほどき、すのりは、もち米とぬかと消石灰を炊いてつくりまわす。洗筒に口金をはめ、中ののりを入れます。手で絞り出しながら白く染め残す部分を下絵にそって、のり

③【はけ染め】のりが乾燥したら染め作業。染料液を含ませた刷毛ですばやくむらなく染めます。

④【乾燥】染め終えた布を乾燥させます。

⑤【水洗い】水に浸し、のりを洗い流します。

⑥【乾燥】再度乾燥させます。

⑦【縫製】ミシンで縫い合わせ、仕立てます。ようやく完成！手間がかかっています。

終戦後は、もち米を買ったのが大変だった。昭和二十二年、十七歳の頃、二代目であるお父さんの元へ弟子入りした山本さん。

「のりの原料にもち米を使うんやけどな。終戦後は配給制で少なかったもんで、もち米を買うのが大変だったよ。尾鷲から伊勢や伊賀の方へ魚を持ってってな、米にかえてもらうんさ。それを右うちで挽いて使ったよ。」

あと五年したら尾鷲神社の御遷宮のぼりや

「御遷宮のぼりや、もう三回しとんさ。あと五年したら四回目や。できるかいな。できたらええな。」

大漁旗は漁師町になくはないもの。現在、後継者はいないんですけど、尾鷲に築かれた伝統の技がこれからも続いていくことを願っています。

平成25年度 ヤーヤ便お申込者のみなさんとの交流企画

その1 ご招待企画 ~これぞ尾鷲の魂だ!!~ 尾鷲ヤーヤ祭り満喫ツアー



今回で4回目となる、人気の尾鷲へのご招待ツアー！
過去開催のツアー当選者の皆さんから大変ご好評いただいております。
ヤーヤ便お申込者の中から抽選で4組8名様を、天下の奇祭「尾鷲ヤーヤ祭り」が満喫できる2日間のツアーにご招待。
初日は、ヤーヤ祭り最大の迫力を誇る「練り」の3日目最終日。最も盛り上がるクライマックスで、練衆と呼ばれる、男たちの壮大な陣取り合戦を見学します。2日目は、大名行列の「薙刀振りや、伝統芸能「神楽」による舞を楽しんでいただけます！
その他、健康ウォーキングの専門インストラクター「尾鷲セラピスト」と行く「世界遺産熊野古道ウォーク」や、生産者との交流など、盛りだくさんの内容で尾鷲をまるごとご案内します。



お申込みの中から抽選で8名様

開催日 平成26年 2月4日(火)~5日(水)

宿泊費、食事代、体験費用、記念品、海洋深層水温浴施設無料入浴券をプレゼント！
※抽選は8月に実施し、抽選結果は当選者のみ後日お知らせします。
※尾鷲への交通費は含まれません。



昨年度の尾鷲まるごと体験ツアーの様子です

その2 特別おまけ 尾鷲の漁師体験ツアー

黒潮あらい熊野灘に面する尾鷲は、様々な魚介類が水揚げされる県内有数の港町。今回の「特別おまけ」は、尾鷲湾に船で繰り出す「定置網」と「ブリ養殖」が体験できる、尾鷲ならではの「漁師体験ツアー」です！
定置網で穫れる魚は、ブリ、カンパチ、カツオ、サバ、アジ、カマス、タチウオ、イカなど、海におまかせ。一方、入り組んだリアス式の海岸線が続く尾鷲湾は、ブリや鯛養殖の有名な産地となっています。
今回は、水揚げ状況や天候も考慮しながら、いずれかの漁師体験に参加・見学いただけます。普段の生活では決して味わうことができない、船上での水揚げ作業などをぜひご体感ください！船上での「地魚試食」もおこないますよ~！



開催日 平成25年 11月10日(日)・平成26年 1月12日(日) 集合場所 尾鷲漁港 各日先着8名様

応募方法 7/1以降に尾鷲観光物産協会(0597-23-8261)に電話でお申し込みください。
※漁師体験に関わる費用についてはヤーヤ便が負担しますが、宿泊費、交通費その他の費用については、お客様の負担となりますので、ご了承ください。 ※荒天の場合、出航できない場合がありますので、ご了承ください。

その3 第三弾 尾鷲ヤーヤ応援隊ツアー 海岸清掃・海岸セラピーと地元生産者との大交流会

今年で3回目となる「尾鷲ヤーヤ応援隊」は、尾鷲地域の活性化と一緒に考え、応援していただける皆さんの輪を全国に広げ、皆さんとの交流を通じて、地域の元気づくりに取り組みたいと考えています。今年も、白砂青松の景勝地「三木海岸」の清掃活動と一緒に行っていただき、きれいな海岸で、癒し効果抜群の「海岸セラピー」を体験していただけます。また、昨年度大変ご好評をいただいた魚介類満載の「地元生産者との大交流会」や、梶賀町での「あぶり」体験等も予定し、盛りだくさんの内容で尾鷲を感じていただきたいと思います。



開催日 平成25年 10月19日(土)~20日(日) 先着16名様
※参加費用やスケジュール等の詳細につきましては、ご連絡によりご説明させていただきます。なお、夏の便にて詳細説明もお届けします。